令和２年１月発行 第47号 発行：京都府立林業大学校（隔月発行）

京林大だより

No.47

第四回林大祭を開催しました

昨年の12月1日(日)に、地域及び林業関係の皆様と林業大学校との交流を目的とした「第四回林大祭」を開催致しました。

当日は、まつぼっくりや枝を利用したリース・ストラップ作りの体験教室、丸太椅子・まな板などの木工品と鹿肉を煮込んだ特製カレーライスの販売、オセロや薪割りなどの各種コーナー・模擬店を開設して、私たちがこれまで学んできた「山の恵み」を活かした催しになりました。

８期生15名が５ヶ月前から内容を考え始めましたが、意見や思いの食い違いもあり、イベントを企画する大変さを感じる準備期間でした。でも、いざ林大祭が始まり、来場して下さった方の楽しそうな顔・木とふれあう子供たちのうれしそうな顔を見るとその大変さが一気に吹き飛び、「開催できて良かったな」と感じました。

ご来場いただいた皆様、模擬店に参加いただいた皆様、ありがとうございました。

京林大学生自治会8期生

(模擬店協力者：「森の力京都」「MADOI」「樹々の会」「Bean’s Goody」「工房 仙太」(順不同、敬称略))

林大特製の「鹿肉カレー」

迫力の薪割り

華やかなリースづくり

手づくりのまな板販売

大盛況のオセロコーナー

三林大交流会

11月14日、15日の２日間「全国林業大学校対抗伐木選手権大会(三林大(長野・岐阜・京都)交流会)」が長野県内において行われました。

この大会も６回目、本校からは２年生12名が参加し、初日は開会式とオリエンテーリングを行い、２日目は長野県林業大学校でチェーンソーの操作や手鋸による伐倒などの技術を競いました。

本校の結果は岐阜県と並び２位、優勝は長野県となりましたが、全員が競技に奮闘しました。

他校との交流を図れ、今年卒業する２年生同士のつながりが深まる良い機会となったと思います。次年度はいよいよ京都府が開催地となる予定です。

競技終了後の参加者全員笑顔の記念撮影

今月の授業参観

『森林経営計画作成実習』

森林で作業の計画を立てるに当たり、近年GISが利用されています。GISとは「地理情報システム」のことで、カーナビなどもその一種です。

授業では京丹波森林組合が使用されているGISについて、どのように航空写真や図面・木の高さや直径など様々な情報を一括管理し、日々の業務で活用されているのかをパソコン２台を駆使し、卒業間近の２年生に丁寧に説明していただきました。

当日の講師は京林大１期生のお二人。現地実習では様々なところで活躍している卒業生に作業説明をしてもらうこともあります。京林大の足跡を感じる一コマでもありました。

京丹波森林組合で活躍する卒業生2名による講義

校長室より

里山を見直す

校長　只木良也

本欄44号(2019年7月)に、オーストラリアからの「地球の気候変動がこのまま続けば、2050年には人類は終焉を迎えるかも…」との衝撃的なレポートを紹介しました。

スウェーデンのグレタ・トゥンベリという16歳の女性環境活動家は、気候変動枠組条約締結国会議などでコメント、政治家など世界の指導者の積極的でない対応姿勢を厳しく非難して、「行動しているふりをして抜け道を探している」「科学から目を離してはいけない」「私たちは大量絶滅の始まりにあるのに、貴方たちが話すのは、永遠に続く経済成長のお伽話」などと発言。彼女に同調する世界の若者達の間に「グローバル気候マーチ」が拡大中だといいます。

文明開化をいうcivilizationという言葉は、ラテン語の「都会」を意味するcivitasを語源とし、本来「都会化」を意味するといいます。未開の自然を「開発」し、都会化することが「文明開化」と猛進してきたのが人類の歴史でした。それは、明治の開国以来のわが国の姿でもありました。都会化に熱中の途上には、特有の自然が育ててくれた伝統・文化が軽視され、切捨てられる例も多かったのです。

その一つの例が「里山」です。お爺さんが柴刈りに行く山、その山から流れ出す川へ洗濯に行くお婆さん、木を燃やした灰を撒いて花を咲かせる(木灰が肥料)、そこにあるのは地産地消の循環型社会でした。それは、足りないものは他所から仕入れる都会の消費型社会とは反対の自然の原理・法則「物質循環」に準拠した人間の活動だったのでした。

都会型消費社会の限界が見えた今日、循環型社会への転換を図るために、世界各地の里山類似のものを分析し、自然資源の持続可能な共生的自然利用の普及を図る知恵を得ようとする動きが始まっています。2010年名古屋の生物多様性世界会議COP10 で提議されたSATOYAMAイニシアティブ・パートナーシップがそれです。(本年9月熊本で第8回会合)

編集・発行 京都府立林業大学校 〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄　TEL.0771-84-2401　FAX.0771-84-0797
ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/　E-Mail: kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp